

授業概要

英国の優れた部分に焦点を当てて、世界から高い評価を得ている英国の生活と文化を理解するためのリーディングを進めて行く。異文化理解の視点で「読む」作業を指導する。与えられた情報を、そのまま鵜呑みにするのではなく、批判的リーディング力を涵養する。語彙問題演習、文法問題演習、リスニング・プラクティス、ライティングも取り入れ、英語の「読む」、「書く」、「聴く」、3技能を涵養する。最終的には、己の意見を構築するところまで持って行く。各ユニット修了後に、学習内容の定着を計り、復習テストを実施する。

授業計画

第1回	ガイダンス。Unit 8 〈人物紹介2：ロンドンで働く若者〉
第2回	Unit 8 〈人物紹介2：ロンドンで働く若者〉
第3回	Unit 9 〈世界中で愛される英文学〉
第4回	Unit 9 〈世界中で愛される英文学〉
第5回	Unit 10 〈ラファエル前派：英国が誇る芸術家集団〉
第6回	Unit 10 〈ラファエル前派：英国が誇る芸術家集団〉
第7回	Unit 11 〈テレビ好きな国民が好きな番組とは？〉
第8回	Unit 11 〈テレビ好きな国民が好きな番組とは？〉
第9回	Unit 12 〈人物紹介3：英国の中学生〉
第10回	Unit 12 〈人物紹介3：英国の中学生〉
第11回	Unit 13 〈英国の辞書に自然災害はない！？〉
第12回	Unit 13 〈英国の辞書に自然災害はない！？〉
第13回	Unit 14 〈今日もどこかでデモ行進？〉
第14回	Unit 14 〈今日もどこかでデモ行進？〉
第15回	ノートの提出と採点
第16回	筆記試験（評価）

到達目標

批判的リーディングが出来るようになる。アメリカ英語とイギリス英語の違いが分かるようになる。プレ・リーディング語彙タスク、リーディング、脚注の吟読、語彙演習、読みとヒアリング、英作文、文法の講義、文法の演習を通して学んで行く。各ユニット毎に復習テストを実施する。オール・ラウンドに英文が読めるようになる。

履修上の注意

履修制限を実施する（40名第1回目の授業に必ず出席すること。遅刻3回で1回の欠席とカウントする。毎回の予習復習が不可欠である。ノート点を採点するので、ノートを活用してまとめておくこと。

予習復習

毎回の予習・復習は不可欠である。テキスト本文の下読みと、全ての演習問題に答えてから授業に臨むことが不可欠である。授業毎に、予習・復習の具体的指示を出す。Unitごとに復習のための小テストを実施する。「読む」部分は、毎回発表者を当てる。

評価方法

春学期末試験 60%。平常点（小テスト、単語テスト、ノート点、発表点）40%。

テキスト

A Fresh Look at Britain 『英国社会の実像を探る』（成美堂）